

平成 29 年度 環境水等の放射性セシウムモニタリング コンソーシアム
通常総会 議事録

1. 開催日時 平成 29 年 6 月 22 日 (木) 13 時 00 分～13 時 30 分

2. 開催場所 筑波大学 東京キャンパス (東京都文京区大塚 3-29-1)

3. 提出議題

3.1 議長選出

保高氏が議長に選任された。

3.2 総会の成立

総会員数 41 会員 (法人会員 14 社、公的機関特別会員(個人)24 名、公的機関特別会員 (法人) 2 機関) のうち、出席 32 会員 (法人会員 13 社、公的機関特別会員(個人)17 名、公的機関特別会員 (法人) 2 機関)、委任状提出 5 会員 (法人会員 1 社、公的機関特別会員(個人)4 名) となり、本コンソーシアム運営会則 11 条 (総会は会員の過半数以上の出席をもって成立する) に基づき、総会の成立を報告した。

3.3 昨年度事業報告

資料 2 に基づき、昨年度の事業報告を行い、承認された。

3.4 昨年度収支報告

資料 3 に基づき、昨年度の事業報告を行った。監事の菊池氏より監査報告があり、問題ないことが報告をされ、昨年度の収支報告が承認された。

3.5 本年事業計画

資料 4 に基づき、本年度の事業計画の説明を行った。④分科会の実施及び技術資料の改定について、以下の指摘、提案があり、修正をすることとなった。基本的な計画については、承認された。

- 「再現性が高くなる操作手順」という表現は作為的とも受け取られる恐れがあるため、「再現性が低い原因を明らかにする」という表現に修正する。
- 技術資料の改訂については、最新の知見および機材を取り入るという方向性を明確に示す方が良いと思うので、「最新の知見および機材に見合い」という表現ではなく「最新の知見および機材を取り入れた改訂」という表現に修

正する。

- ろ過フィルター径が結果に与える影響については、定量的な評価が難しく、定性的な評価にならないように注意が必要であるとコメントがあった。また、表現についても、「ろ過フィルター径の影響も含めた検討を行う」という表現の方がよいのではないか、という指摘があった。

3.6 本年度収支予算

資料4に基づき、本年度の収支予算の説明を行い、承認された。

3.7 その他必要事項

提案等はなかった。

以上